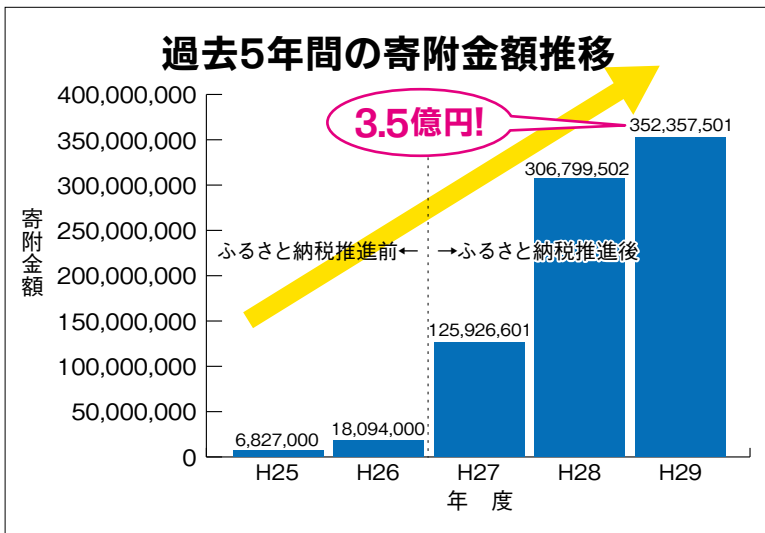


平成27年度より市外へのPRはもちろん、地域経済の活性化や市の歳入増を目指し、ふるさと納税事業を推進しています。今回は「ふるさと納税」に取り組み意義や目的に加え、ふるさと納税の活用状況などを紹介します。

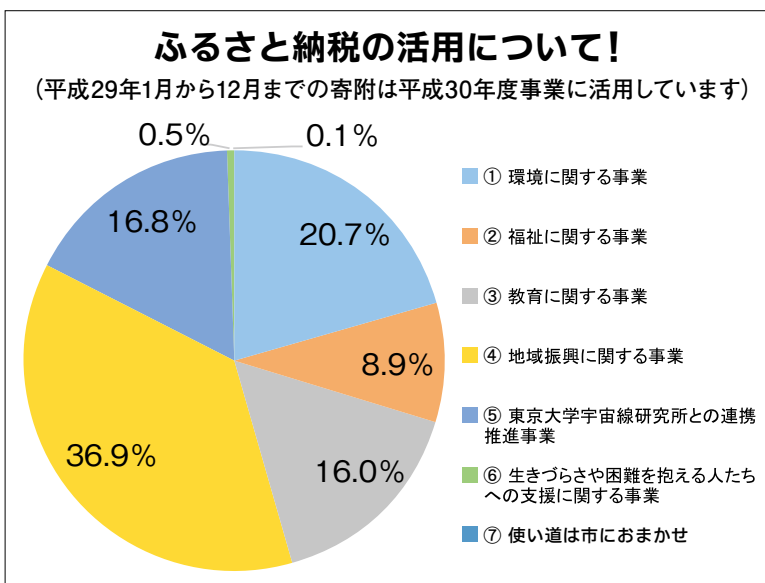


「ふるさと納税」は、生まれ故郷や、居住していないものの愛着のある市町村に寄附することで、その市町村を応援する制度です。

市では、この制度をPRツールとして活用。市の魅力を全国に発信する手段として役立っています。寄附金額に応じて贈

る返礼品は、地元から食料品や工芸品などを調達することから地域経済の活性化にも大きく寄与しています。

そして、寄せられた寄附金は、指定された目的に応じた事業に活用することで、寄附者の「応援したい」思いに応えています。



「飛騨市の魅力」をPR

本市のふるさと納税は、『飛騨市のもの』に特化し、対外的な認知度を高めるために推進しています。この取り組みにより、全国の皆さんに飛騨市を知ってもらい、多くの支援をいただいています。

「二石三鳥」の効果

ふるさと納税の認知度は年々高まり、寄附金額も増加しています。昨年度は寄附金額3億5千万となりました。ふるさと納税の制度により地域経済



選ばれた商品にするためには写真の撮り方も大切！ 6月7・8日に2会場にて勉強会を開催しました



の活性化や市の認知度向上、市の歳入増といった、「二石三鳥」の効果も期待できます。

官民一体となった取り組み

本市のふるさと納税の特徴の一つが、市と市内事業者で「共に取り組む姿勢」が根付き始めていることです。市内事業者と行政が一体となって、より魅力ある商品づくりや選ばれた商品を届け、定期的に勉強会を開催しています。

現在の市内登録事業者数は50を超える

この制度を活用して、飛騨市の魅力を全国に向けて発信し、より多くの方に知ってもらい、足を運んでいただけたり、市の特産品を再度購入していただけることを期待しています。そのためにはまだ知られていない市の魅力を掘り起こし、返礼品の充実を努める必要があります。現在の返礼品は53事業者、295商品のラインアップです。返礼品の更なる充実に向け、市内事業者の皆さんにはぜひご協力をお願いします。

また、家族や親戚、友人にふるさと納税を考えている人がいたら、ぜひ飛騨市への寄附をご紹介ください。

